



Roman Album

サムライ SANTURAI CHAMPION チャンピオン

ロマンアルバム



サムライチャンピオン SAMURAI CHAMPION



2005.05

登場
MAIN CHARACTER
人物

ムゲン

MUGEN

推定年齢二十歳。粗野な仕草、乱暴な言葉遣い、ヤクザの風体で力を持ち上級の野生動物のような直感と、人間離れした身体能。今の状況に応じた戦法を選択する。誰に教えられた事でもその集め、剣法でも呼ぶべきか、めづる強いが荒削り、やたらと無謀な動きも多く、反則攻撃あり、まるでブレイクダンスを踊るがごとく戦う。とまあ、戦い方にも性格は表れている。地球のどある島のこと、それがムゲンの唯、無二の生きる術だった。自分が実感したのか、そのギリギリの線上に身を置くことを好み、そんな刹那にこそ、己の限界を超える力を引き出せると感じている。





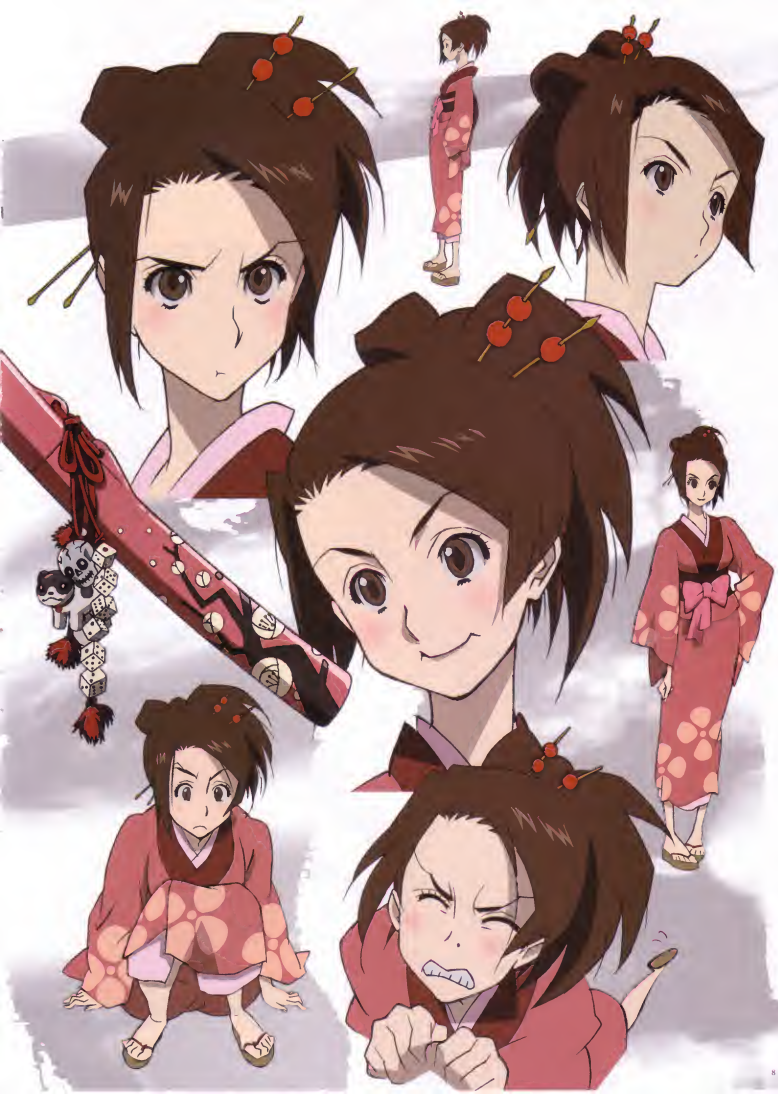
登場
MAIN CHARACTER
人物



JIN

推定年齢：十歳 江戸時代：千両を超える他流試合に、度たりとも敗れることの無かったという肝外れの記録を持つ劍客。真里谷川四郎がいた日本劍術史において究極を極めながらも記録らしい記録も残さず消えていった幻の劍術。無住心劍術。ジンは川四郎が本出陣に開いた天守で酒をいった幻の一番弟子であり、若くして師を凌ぐともいわれた天才。心劍流道場の一番弟子で、常にジンは己は、人、天、狂、独であるという氣あつた天才肌が災いして、常に「ことなる」とある事件で師匠を殺して持ちを払拭出来ずに生きていくことになる。変装のため伊達眼鏡しまい、ジンは道場を出奔。以来、流浪の身となる。太月で打ち倒す使用、劍を交えるまでも無く相手の太月筋を見切り、太月で打ち倒す。己が何者であるかを知るために、危険へと飛び込んでいく傾向が強く、三人の中では、番危険の匂いを嗅ぎ分ける能力に長けている。





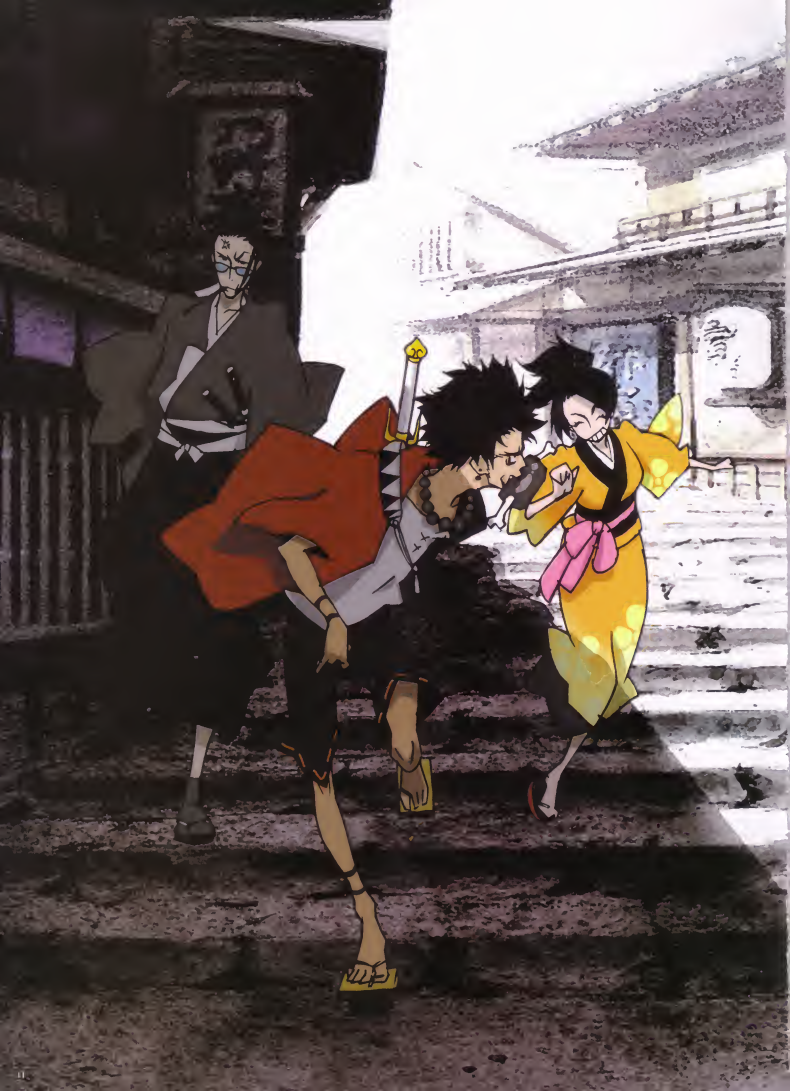


フウ

FUU

推定年齢十五歳。いつも明るく好奇心旺盛で、世話好きいや、むしろお節介。数限りなくバイトを転々としている職のエキスパートでもある。ある男を捜すために方をめぐっている職のエキスパートをして、いれは手がかりが掴めるかも知れないと、幅広くバイトする。その男を捜して諸国漫遊に旅立つ覚悟を決めていた。でもカマコくてカワイイ女の子の人旅はとて危険と旅立ちをすこと迷って、いた。ムゲンとシと出会ったことで、半は強引に彼らを旅の仲間にして、向目鼻の匂いがかかる侍を捜す旅に出た次第。喉い意地が張って、タタのものなら何でも美味しいと感じる宇宙に続く強靱な胃袋を持っている。着物の袖にモモンガのモモンガを飼っていて、時々助けてもらったりもする。

登場
MAIN CHARACTER
人物





浮世絵

喜多川歌麿は、むすめりておなじみのウイセントファンゴにも影響を受けた元禄年間以降の浮世絵の師匠である。喜本、原画、肉筆画に代表される浮世絵師である。代表作『見返り美人』は、浮世絵の切手の開拓として有名なが、その後の浮世絵の発展によって衰亡する。浮世絵の発展は化装、髪型、服飾、時代である。役者絵、美人画を中心とする。浮世絵（歌川）広重の『東海道五十三次』、喜多川歌麿の『歌麿三十六景』など風景画の種が生まれる。浮世絵はそれは別の世界化の影響でもあり、浮世絵の発展はこの当時注目された存在ではなかった。浮世絵の発展は、浮世絵の発展による浮世絵の研究も出される。浮世絵の発展は、浮世絵の発展による浮世絵の研究も出される。浮世絵の発展は、浮世絵の発展による浮世絵の研究も出される。

江戸の出版物はすべて木版刷りであった。印刷技術が次第に手帳がかり、高価な物であった。浮世絵の発展は、浮世絵の発展による浮世絵の研究も出される。浮世絵の発展は、浮世絵の発展による浮世絵の研究も出される。浮世絵の発展は、浮世絵の発展による浮世絵の研究も出される。

当時は今という報道活動が盛んであり、浮世絵の出版物の禁止されていた。しかし、浮世絵の発展は、浮世絵の発展による浮世絵の研究も出される。浮世絵の発展は、浮世絵の発展による浮世絵の研究も出される。浮世絵の発展は、浮世絵の発展による浮世絵の研究も出される。



麩羅蕎麦。

についてふれてみる。かけ蕎麦
だった。軍儀の「時蕎麦」にも
おらに「天麩羅」の字を当て
「江戸蕎麦一振千両」に「四
時蕎麦を一ツ買って食ひしより」
にかき揚げ蕎麦は絶賛食品
一杯飲んでかき揚げを二杯

念ながら確定出来ない。
来ないのである。ただし天井
（コラム参照）井物は比較的





新伊東伸高・森下博光

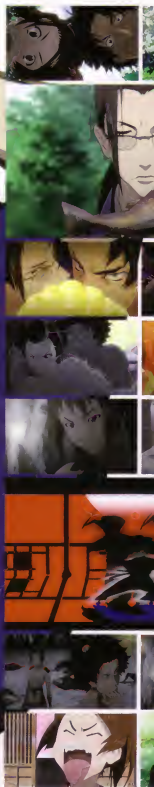
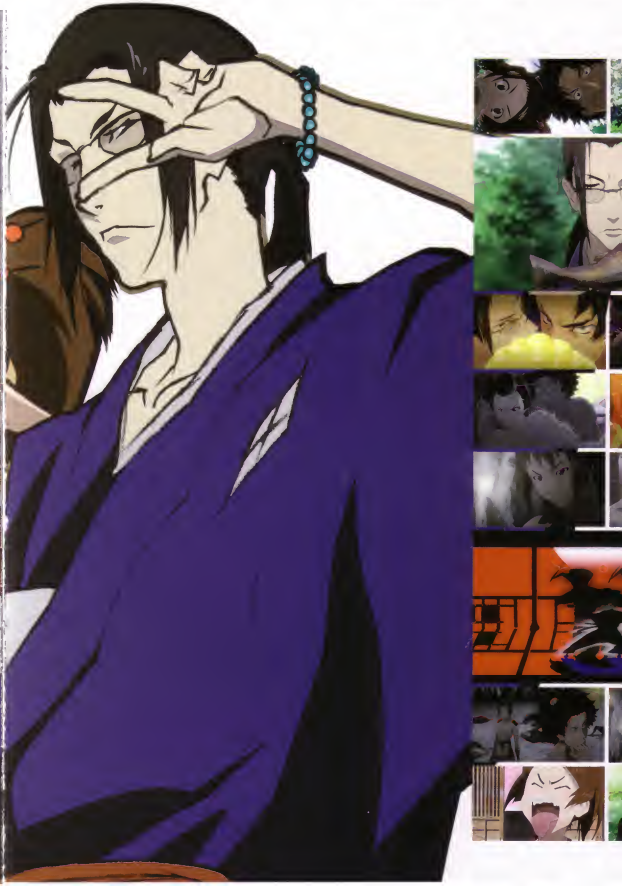
02/21 23

共之式



登場した武者歌舞伎の紹介

16、17話で登場するオウルを襲う松前藩は、藩体制崩壊の直前である
武者歌舞伎の一角を担う大名家である。あの松前藩だけの松前といったら分か
りやすいだろう。北前廻船の寄港地として北高い山脈の海を有し、石高以
上に特産を産する。あくまで公卿二万五千石と低いので比較論の藩である。
松前藩にも所心は存在するが上臣の公卿階級と協働することなどは
に無かった。元は敵である。





突如とムゲンとムゲンとムゲン、フワから
 飛来かさね、百合の標榜へ、行き
 行は神威降重なとある村、深夜、
 陣乳頭へ納めていく村人を目撃
 して、
 ぶつて始まった。フワは事で百合
 へ、百合は語る。生月島に隠居願
 っていたが、切支丹狩りに巻き込ま
 れた。その消息は分からない。
 無理矢理婚約をうさサビエ
 へ、さへ願ひつけたムゲンとムゲン
 へ、
 本人だと正体こそを露見して、八
 りりのサビエル田圃、切り札のサ
 ンの悪党でめたく、ばらさまへ、
 上向きで旅を再開したムゲン達。
 鬼母は何モンなんだ、ムゲン
 には、フワは思い詰めた表情で、私の
 背を見た。







